

蒔絵と書道の出会い

「チーム『書』どう？」

本日の発表の流れ

- 1、はじめに
- 2、ちきりや手塚万右衛門商店さんの訪問
- 3、摺り漆作品の制作
- 4、蒔絵作品の制作
- 5、おわりに

1、はじめに

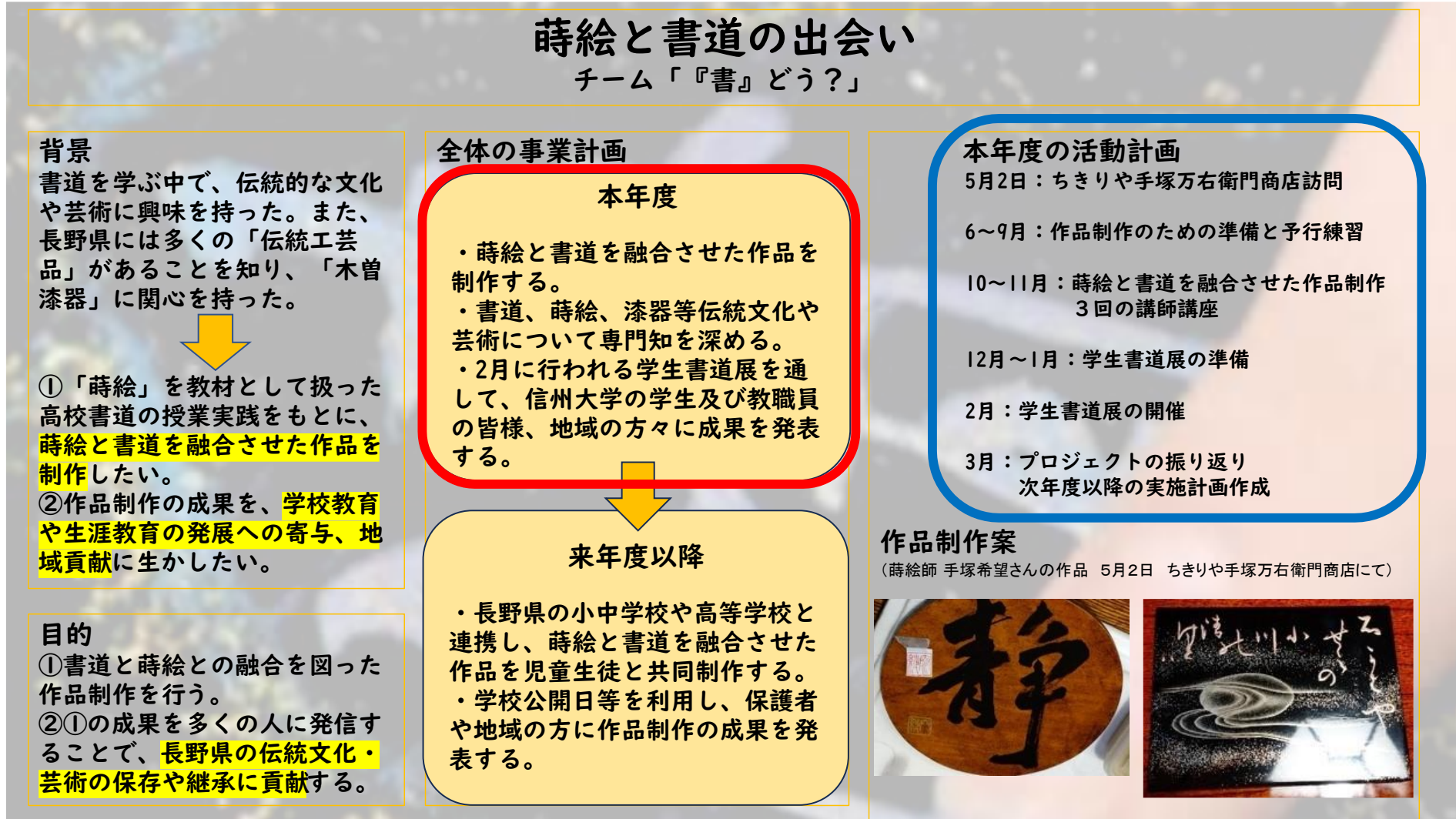


図1 2023(R5)年6月14日「Educational Challenge」二次選考 発表用Power Pointより
(赤枠：本年度の事業目標 青枠：本年度の活動内容)

1、はじめに

- 本年度の活動報告

 - ちきりや手塚万右衛門商店さんへの訪問

 - 摺り漆作品の制作

 - 蒔絵作品の制作

 - 作品制作を通して学んだこと

- 本年度の活動の成果

- 来年度の活動の展望

2、ちきりや手塚万右衛門商店さんへの訪問

【学んだこと・感じたこと】

○漆とは何か…？

- ・漆の木に傷をつけた時に、そこから分泌される樹液が用いられる。
- ※国産の漆は非常に貴重で高価なものになっている。



②OSAME重
(chikiriya.co.jp)

○摺り漆と塗り漆

- ・摺り漆は、木目の美しさを生かした作品で、普段使いに適している。（↑左図）
- ・塗り漆は、着色をしたり蒔絵を施したりする作品で、比較的高価である。（↑右図）

○木曾漆器の特徴

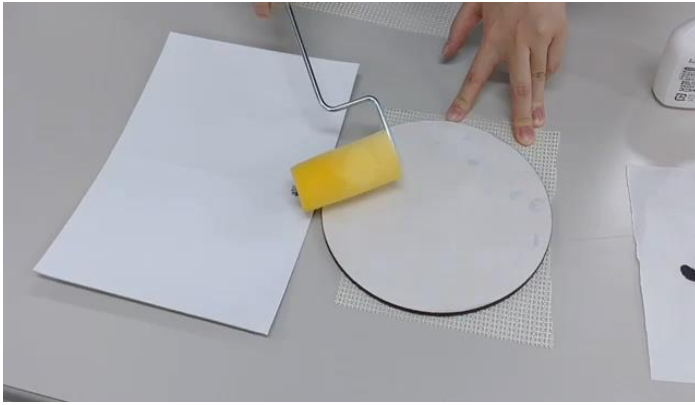
- ・木曾の良質な木を使用しており、普段使いに適したものが多い。生漆を繰り返し擦り込みしみ込ませることで、木目の美しさを生かした技法が特徴的（木曾春慶塗り）。
- ※輪島塗→粉を蒔いたり銀箔を貼ったりすることで、豪華絢爛な美しさを生み出す。

○蒔絵作品

- ・漆で描いた絵や文様の上に、金色や銀色の金属粉を蒔いて描く装飾。



3、摺り漆作品の制作



【学んだこと・感じたこと】

○同じ作品を制作したにも関わらず、1つ1つ色の出方や濃さが違った。
・生漆を塗る量やスピード、季節による乾燥の様子、制作過程で噴射するスプレーのむら等、様々な要因が1つ1つの作品に色味の違いを生じさせる。

→自分ならではの作品が完成し、制作した作品に愛着が湧いた。

○摺り漆の工程を2回・3回と重ねるごとに、作品のツヤ感が増していき、さらに美しい見た目となった。

○生漆を手早くムラ無く塗る作業が初めは難しく感じたが、回数を重ねるごとに、手早くきれいに塗ることができるようになった。

4、蒔絵作品の制作



【学んだこと・感じたこと】

○書道で使用している筆とは扱いの異なる
現の幅に美しさを感じた。

→「蒔絵筆」は一方向にしか動かすこと

○「磨き蒔絵」という手法を学んだ。

○線の太さや、色粉の色、艶の具合など、一人一人の個性あふれる作品を制作することができた。

やっぱりプロの人ってすごい！！

5、おわりに

- 本年度の活動の成果

- 摺り漆や蒔絵に関する知識および技能の習得
- 伝統的な文化・芸術を実際に体験する重要性
- 外部への発信

→ 学生書道展、教育学部公式SNS (X、Instagram、YouTube) 、
長野市民新聞社様、長野ケーブルテレビ様

学部図書館での開催ですが、
多くの一般来場者様にも
楽しんでいただいております！

5、おわりに

- 来年度の活動の展望

- 高遠高校芸術コース書道科の生徒と共同制作

2023年12月5日（火）松村先生とZOOMミーティング

地域密着型の学校。地域貢献を重視！

- 現時点の案：

1学期 事前学習 木曾漆器や蒔絵について知る

→手塚さんの工房見学 or 特別授業^o（オンラインも可）

2学期（9～10月）作品制作^o

→本年度制作した作品

成果発表 伊那文化会館にて開催の展覧会で展示

※今後、活動の内容および計画をより具体化

5、おわりに

- 令和五年度 学生書道展

図書館1Fリフレッシュコーナー

2F展示スペース

15日（木）まで開催



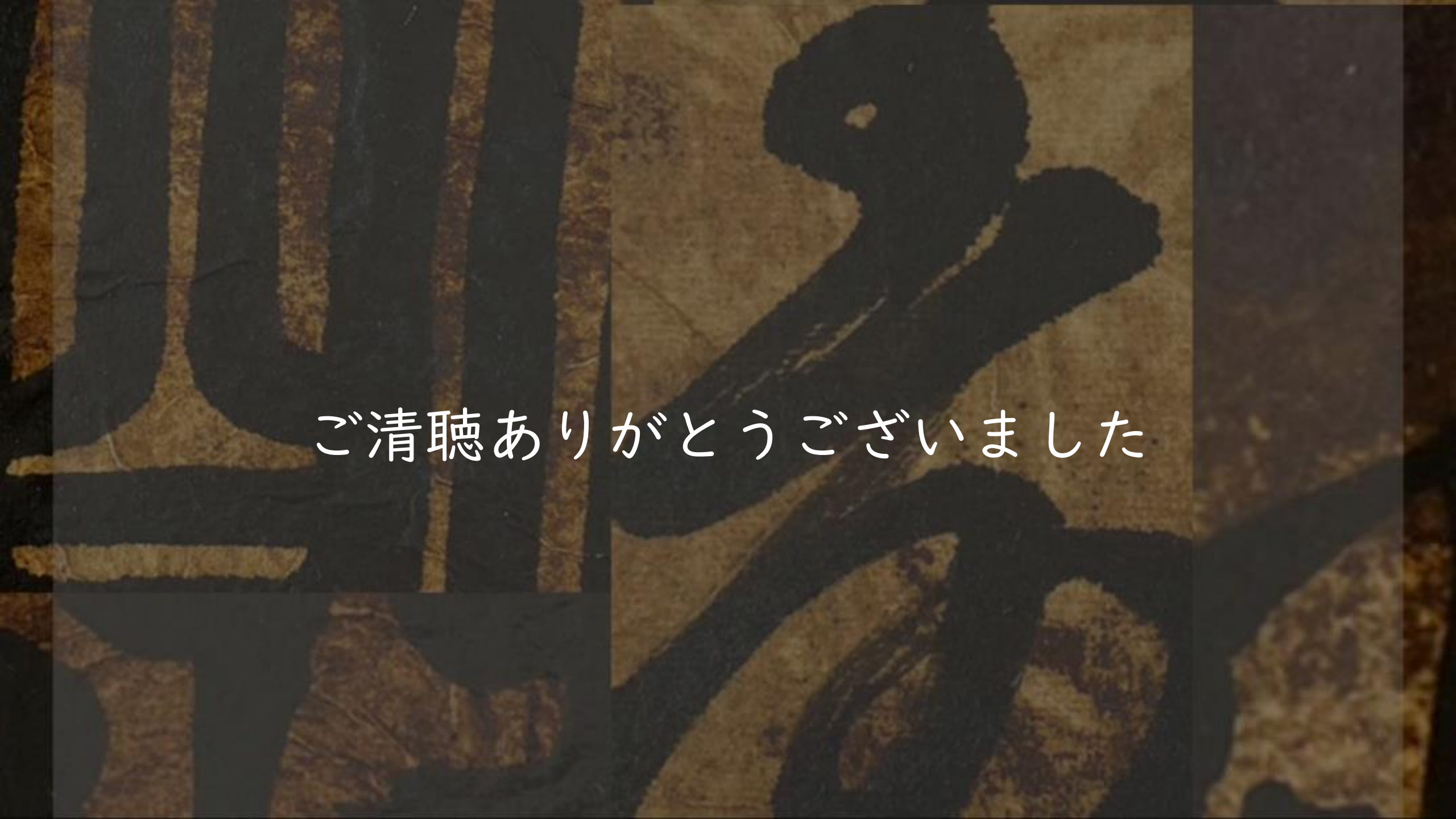
2024/2/9放送「INC長野ニュース」より



漆塗り加工を施した書道作品を紹介する学生

2024/2/10「長野市民新聞」より

皆様のご来場をお待ちしております！



ご清聴ありがとうございました